



監査報告書

令和 3 年 5 月 18 日

社会福祉法人 上富田町社会福祉協議会
会 長 三 栖 徹 殿

監事 福田 弘 治 
監事 平 岩 修 

私たち監事は、令和2年4月1日から令和3年3月31日までの令和2年度の理事の職務の執行について監査を行いました。以下の通り報告いたします。

1 監査の方法及びその内容

私たち監事は、理事及び職員等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び職員等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査しました。以上の方法により、当該会計年度に係る事業報告及びその附属明細書について検討いたしました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該会計年度に係る計算関係書類（計算書類及びその附属明細書）及び財産目録について検討いたしました。

2 監査の結果

(1) 事業報告等の監査結果

- ① 事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- ② 理事の職務の遂行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

(2) 計算関係書類及び財産目録の監査結果

計算関係書類及び財産目録については、法人の財産、収支及び純資産の増減の状況を全ての重要な点において適正に表示しているものと認めます。

3 意見・要望

今回の監査では、前述のとおり、経理処理には不適切な問題はありません。
決算状況は、法人全体の収入総額が 298,166 千円、支出総額が 296,030 千円、収支差

額が 2,136 千円の黒字となっており、前年度と比較して大幅に改善されている。その主な要因は、定年退職や職員の定数見直しによる人件費の削減と本年度から新たに町より社協の運営費 14,000 千円が助成されたことが大きく寄与している。

また、主要な自主財源である介護保険収入は令和 2 年度においても大幅に減少している。結果、依然として厳しい財政状況であるが主任ケアマネジャーが欠員となっているため、約 8,000 千円が介護保険報酬に加算されていないのが大きく影響している。このため主任ケアマネジャーの育成が喫緊の課題である。

今後とも自主財源の確保、運営費補助金の増額等、町の協力・支援を得ながら引き続き安定経営の実現と地域福祉の充実に努めていただきたい。